

| | | | | | | | |
|--------------------|---|---|----|-----|---|------|----|
| 科目名 Course Name | 音楽セラピーⅡ Music Therapy II | | | | | | |
| 年次 | 2年 | 期別 | 後期 | 単位数 | 1 | 授業形態 | 演習 |
| 担当者氏名 | 岡泉志のぶ | | | | | | |
| 連絡先(質問等) | 岡泉研究室(講義棟3階)、またはメールで対応する。 | | | | | | |
| 必修/選択 | 選択(アートセラピーユニット) | | | | | | |
| 関連 DP | DP3、DP4、DP5 | | | | | | |
| 授業の概要と到達目標 | <p>音楽療法は、ストレスなどで病んだ心や体の症状を改善したり、痛みを緩和し生活の質の向上を図る目的で音楽を用いる療法である。この授業では、ホスピスでの音楽療法として、患者様の肉体的、精神的苦痛を緩和し、安らかさを保たせることに最善を尽くした方法を考案し、医療現場での音楽活用によってどのような効果があるかを検証する。</p> <p>① 音楽の楽しさや幅広い音楽への興味や関心が高まり、豊かな感性と音楽的教養を身につけることができる。</p> <p>② ホスピスの音楽療法を考え、癒しの効果を持つ音楽作品を選別することができる。</p> <p>③ 音楽にはどのような癒しの効果があるかを検証し、共同でミュージックベル・トーンチャイムの演奏をできるようにする。</p> | | | | | | |
| 授業の方法 | ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション等を取り入れたアクティヴ・ラーニングの授業形態で総合的な実践力の習得を図る。校外授業では、ホスピスの音楽療法の効果を体感し、検証していく。 | | | | | | |
| 学習成果 | L01 | 音楽を鑑賞する楽しさや幅広い音楽への興味や関心が高まり、音楽的な教養を身につけることができる。自らの責任感とチームワークとしての協調性を身につけることができる。 | | | | | |
| | L02 | 医療現場におけるホスピスの療法を考え、癒しの効果を持つ作品を選別することができる。また、音楽療法を目指した心身のケアの手段として、音楽的な演奏活動の実践ができる。 | | | | | |
| | L03 | | | | | | |
| | L04 | | | | | | |
| 課題に対するフィードバック | 各授業にて事前事後で学習したことを「確認シート」に記入して提出し、毎週フィードバックする。小テストは授業内に実施して翌週(第5回目)授業にて返却する。 | | | | | | |
| 教科書/参考図書 | 教科書は使用せず、適宜、資料と楽譜の配布をする。 | | | | | | |
| 履修上の留意点やルール等 | ●私語や居眠りなど授業態度が悪い場合は減点となる。●携帯電話(楽曲を調べる以外)は使用禁止、飲食厳禁である。●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回45分とする。 | | | | | | |
| 担当教員の実務経験 | ●実務経験(職種:ピアノ講師 職歴20年) | | | | | | |

| 成績評価の方法と基準 | | | | | |
|------------|---|---------|-----|-----|-----|
| 評価の領域 | 評価基準 | 学習成果の割合 | | | |
| | | L01 | L02 | L03 | L04 |
| 授業参加態度 | 授業には積極的に参加し、事前事後で学習したことを「確認シート」に記入して提出をする。グループ演習では他の履修者と協力して、演習活動に取り組む姿勢であることを評価する。 | 20 | | | |
| レポート/作品 | 校外授業での成果・ホスピスの一における音楽療法の効果(10点)をレポートとしてまとめ、期限内に提出されること(10点)で評価する。 | 20 | | | |
| 発表 | 校外授業として医療現場で発表を行う。個々の技術と完成度の高い演奏、成果を評価する。 | | 50 | | |
| 小テスト | 短時間で正確な回答であることが10点の配点である。 | | 10 | | |
| 試験 | | | | | |

| | | | | |
|-----|--|----|----|--|
| その他 | | | | |
| 合 計 | | 40 | 60 | |

| 回数 | 授業計画 | |
|----|---------|--|
| 1 | 授業内容 | 授業概要、学習成果、成績評価、授業での諸注意、ミュージックベルについて |
| | 事前・事後学習 | ミュージックベル演奏の映像を鑑賞する。(各授業で確認シート提出) |
| 2 | 授業内容 | 音楽の知識と音楽の活用法① -作品の選定- |
| | 事前・事後学習 | 医療現場に相応しい選曲、譜読みの練習をする。 |
| 3 | 授業内容 | 音楽の基礎知識と音楽の活用法② -ホスピスの音楽活用- |
| | 事前・事後学習 | 演奏曲について、メロディと和音の譜読みの練習をする。 |
| 4 | 授業内容 | 医療現場での効果とその活用 音楽基礎知識(小テスト) |
| | 事前・事後学習 | 音楽の効果について事例研修をする。 |
| 5 | 授業内容 | ミュージックベルとトーンチャイムの実践① -奏法- |
| | 事前・事後学習 | 「ジングルベル」「きよしこの夜」の譜読みと曲の解釈をする。 |
| 6 | 授業内容 | ミュージックベルとトーンチャイムの実践② -実践- |
| | 事前・事後学習 | 「もろびとこぞりて」「赤鼻のトナカイ」の譜読みと曲の解釈をする。 |
| 7 | 授業内容 | ミュージックベルとトーンチャイムの実践③ -応用- |
| | 事前・事後学習 | 他に作品選定したクリスマスソング 2 曲の譜読みと曲の解釈をする。 |
| 8 | 授業内容 | ミュージックベルの効果① -医療現場におけるその効果- |
| | 事前・事後学習 | クリスマスソング 6 曲の完成を目指して練習をする。 |
| 9 | 授業内容 | ミュージックベルの効果② -ホスピスの音楽療法- |
| | 事前・事後学習 | ホスピスに相応しい作品 2 曲の選定との作品解釈をする。 |
| 10 | 授業内容 | 音楽活用法① -曲の完成- |
| | 事前・事後学習 | 担当の音を意識して曲の完成度を上げて練習をする。 |
| 11 | 授業内容 | 音楽活用法② -完成度を上げる- |
| | 事前・事後学習 | 音楽的な表現を感じて練習をする。 |
| 12 | 授業内容 | 音楽活用法③ -癒しの効果を上げる- |
| | 事前・事後学習 | 演奏発表に向けて曲の完成度を上げるための練習をする。 |
| 13 | 授業内容 | 校外授業① -演奏発表会- |
| | 事前・事後学習 | 演奏発表の準備と完成度を上げるための練習をする。 |
| 14 | 授業内容 | 校外授業② -演奏発表会- |
| | 事前・事後学習 | 校外授業での演奏実践を通して得た達成感とその現場での効果についてレポートにまとめる。 |
| 15 | 授業内容 | 医療現場で発表した成果とホスピスへの効果(ディスカッション)とレポート提出 |
| | 事前・事後学習 | これからの医療現場に必要なケアについて、個々で検討する。 |